

わが社は、

2002年に品質マネジメントシステム「ISO9001」を取得し、ISOを経営の柱とし、主に火力、水力、原子力発電設備、建設機械の溶接構造物を製造しております。

- ① 多岐にわたる材質の溶接
- ② 高品質が要求される構造物
- ③ 精度が要求される構造物

を製作することを得意とし、特徴ある「モノづくり」企業として評価されております。

顧客からの信頼を継続すること、そして、人材の育成(技術・技能の伝承)を重点目標とし、計画的な事業活動を展開しております。

また、2012年に環境マネジメントシステム・スタンダード(KES)ステップ2の登録を行い、環境改善にも努めております。



(本社および総務課は認証範囲外)

旭製作所の 強み

材料・製缶・溶接・焼鈍・非破壊検査・機械加工の
一貫生産 を得意としております

電力設備・産業機械・橋梁等の溶接構造物に対し、
高品質・高精度を **低コスト** で
提供する提案をいたします

- 受注生産・特殊工程 (溶接・焼鈍・塗装) を主体とした製造
- 施工方案書 による溶接施工
- 溶接・非破壊検査の 公的資格取得



当社の 変遷

2019年 茨城大学との共同研究を開始
(新素材試験体の溶接施工条件の確立)

2018年 第2回次世代火力発電EXPO
(東京ビッグサイト) に出展

2016年 ASUセミナー開設 MHPS受注好調

2015年 富士・フォイトハイドロ(株)取引開始

2014年 MHPS発足

2012年 日立事業所 タービン、ガスタービン、発電機、
山手、水車 完成外注品の受注拡大
KESステップ2 取得

2003年 (～2009年) 日立ピア 半導体製造装置受注拡大

2002年 **ISO認証取得** 工場改革に取り組む

2009年
本社工場を滑川工場に集約

1995年 日立/水戸工場(エレベータ)、新日本工機、九州鋼機
小松製作所(プレス)、茨城電機工業(変圧タンク)

1991年
滑川工場 事務所棟 新設

1978年 第二次オイルショック / ガスタービン部品製作開始
生産技術部発足

1973年 第一次オイルショック / 日立建機 建設機械部品、
トンネル掘削機部品製作

1972年
滑川工場 製缶工場増設
10トン、15トンクレーン

1969年
滑川工場増設 焼鈍炉 新設
圧延機等の厚板溶接品取組み
DEFLU, PKGC, E.FRM

1950年
操業開始

薄板、中板のカバー等発電設
備外装品
O.CLR (～1967年)



主要設備

設備名称	台数	仕様
クレーン	9台	15トン 10トン 5トン 2.8トン
油圧プレス	1台	400トン
ラジアルボール盤	2台	1.2M
定盤	9面	組立：7面 検査：2面
溶接機	66台	半自動、TIG、サブマージアーク
ポジショナー	10台	最大38トン
焼鈍炉（重油）	1台	W:2900×H:2450×L:3500
焼鈍炉（電気）	1台	W:1500×H:1500×L:2000
ショット設備	1台	W:4850×H:3320×L:7500
塗装設備	1式	—
探傷器	3台	超音波：2台 磁気：1台
水圧用試験ポンプ	2台	150kg
ワイドエリア三次元測定器	1台	最大測定長さ W:10000×D:3500×H:5000

各種資格取得状況

取得機関	取得資格			取得者数
日本溶接協会	溶接技能者	アーク溶接	A-2FV A-2FO T-1FP	18名
		半自動溶接	SA-2FV SA-3FP	15名
		ステンレス溶接	TN-FH	11名
		銀ろう付け	PA-Cu	4名
	溶接管理技術者	1級		1名
		2級		8名
日本非破壊検査協会	浸透探傷試験	PD1 PT2		4名
	磁粉探傷試験	MT1 MT2		2名
	超音波探傷試験	UT1 UT2		4名

(2021年1月現在)

受賞歴

茨城県技能者表彰（平成28年11月）
『平成28年度第46回茨城県職業能力開発促進大会』において



受賞者の技能の概要及び功績等		
氏名	田中 隆	技能の概要
職 業	溶接工	長年にわたり国内外向けの水力、火力、原子力発電設備における溶接機、造物の製作に従事しており、卓越した知識、技能をもち、様々な材料や異なる環境での溶接作業に精通している。
経 歴	アーク溶接工	また、後進の技能向上を図るための指導教育に尽力するほか、各種の技能競技大会へ選手技能者を派遣し成果を挙げている。

(株)日立製作所日立事業所主催 グローバル技能競技会【半自動アーク溶接の部】
第2位、第3位 入賞（平成29年1月）



沿革

- 1950年1月
厨川鉄工所創業開始
- 1952年3月
株式会社旭製作所設立
日立製作所日立事業所との取引開始
（主たる製品：治具、カパー等の薄板製品）
- 1969年11月
滑川工場操業
ショット設備、焼鈍炉、10トン、
15トンクレーン設置
（主たる製品：厚板製品、O.CLPに取り組む）
- 1974年
日立建機株式会社との取引開始
（建設機械部品：アーム、ブーム、バケット、
トンネル掘削機）
- 1980年
茨城電機工業株式会社との取引開始
（変圧器用タンク等）
- 1984年
武士洋一 社長就任
- 1987年
資本金 2,000万円に増資
- 1990年
38トンポジショナー設置
（ガスタービン部品、蒸気タービン製品）
- 1991年
滑川工場事務所増設
- 1993年
製造部門を滑川工場に集約
- 2002年5月
ISO 9001認証取得
- 2009年
製造部門を滑川工場に集約
- 2010年
日本NDI協会レベル2取得（PT,MT,UT）
（ガスタービン及び蒸気タービン製品、機械加工）
- 2012年10月
KES登録
- 2015年1月
電気焼鈍炉増設（ものづくり補助金）
- 2015年10月
富士電機株式会社との取引開始
- 2016年1月
若手人材育成に取り組む(キャリア形成促進助成)
- 2017年2月
人材育成プログラム導入 基調講演

- 2019年11月
武士哲也 社長就任

受注から引渡しまでの 主要プロセスと担当業務

